

## わかば学級 高尾宿泊学習

わかば学級担任 古賀 千佳

七月三日から一泊二日で高尾方面に宿泊学習に行きました。一日目は、コニカミノルタサイエンスドームでプラネタリウムを楽しみました。宿舎のわくわくビレッジでは、五・六年生によるレクリエーションで盛り上がりました。二日目は高尾山のケーブルカーの車窓から見える景色を楽しみ、さる園でお猿さんにエサをあげました。下山後、高尾599ミュージアムに立ち寄り、高尾の自然について学ぶことができました。

暑い中の宿泊学習となり、熱中症も心配されましたが、大人の不安も何のその、子どもたちはどの活動も全力で楽しんでいました。二日間寝食を共にし、様々な活動の中で協力し、仲間意識もより深まりました。また、今回の宿泊学習では、低学年のお世話を懸命にしてくれる高学年の姿が輝いていました。そんな姿が、中学年、低学年に受け継がれていくことを期待しています。

## 校内研究 つながる田無の豊かな学び

研究主任 蘭牟田 雄一

田無小学校では毎年全教職員が一丸となつて児童の学力向上を目指すための校内研究を行っています。「基礎学力を活用し、自ら学ぶ子の育成」をテーマに、国語科、体育科、社会科、算数科の授業を通して研究しています。本校では、高学年において教科担任制を行っています。教職員がそれぞれ担当する教科の専門性を高めるための取り組みが校内研究です。今年度は各教科における基礎学力の向上・活用を目指します。

児童が生き生きと学びに向かうには、「やつてみたくなる授業」「分かる授業」「楽しいと感じる授業」を目指していくことが必要だと私たちは考えています。児童の成長と笑顔を目指し、授業研究に取り組んでいきます。

## 体力テストの結果を活かして

体力テスト担当 中川 広

一学期に体力テストを実施し、体力の実態を把握しています。昨年度から体力テストの集計方法がデジタル化し、タブレットで過去のデータと比較して、どのくらい成長したか分かりやすくなり、成長を実感しやすくなりました。ご家庭でも、結果やそれに応じた運動例などから運動の習慣を考えるきっかけにしていただき、休みの日の運動などにも活かして欲しいと思います。健康で充実した生活を送るためにも、体力をつけることはとても大事です。体力が付くと、体が強くなる、粘り強くなる、集中力が高まるなど、目標に向かって突き進む力につながっていきます。体力を高めるためには、低学年の頃から「まずはやつてみること」「全力でやること」「続けること」が大事です。本校でも、いろいろな運動に挑戦し、楽しく取り組み、もつとやつてみたいと感じられる機会を増やし、楽しく運動することを習慣化していくことを目指します。今後とも、ご理解ご協力をお願ひいたします。

## 一人一人の子どもに合わせた支援を目指して

特別支援教育コーディネーター 島 裕未

東京都ではすべての小中学校で特別支援教育コーディネーターが配置されています。特別支援教育コーディネーターとは、子どもの発達や行動の気がかり、学習面の困り感などについて、担任とともに連携を図りながらよりよい支援の方向性を一緒に考えていく存在です。

例えば、「集団にうまくなじめでいないのでは?」「学習についていくのが難しいかもしれない。」「気が散つて集中できないけれど、好奇心が強すぎる?」「ほんやりして、大事な話を聞きとれていないかもしれない。」といった心配事がありましたら、どうぞいつでもご相談ください。子どもたちが自信と安心感をもつて学校生活を送ることを目指して、一人一人に合ったサポートの在り方を考えていきます。